

令和2年度 長崎市立日見中学校 学力向上プラン

【本校の教育目標】

感重力：夢なき者に努力無し
 努力なき者に成功無し
 成功なき者に感動無し

創造：現状維持は衰退の一步
 次代の創造者たれ

協調：必要なときは
 力を合わせて大同団結

全国・県学力調査における数値目標（令和三年度に向けて）

* 全国学力調査・県学力調査の記述式問題において、無回答率を全問題「0%」に抑える

* 【国語・言語事項】の領域における正答率の向上。

14.6ポイント（新3年生）

11.0ポイント（新3年生）

* 【英語・話すこと】基本的な質問に対して正しく文で答えたり、会話を続けるために質問をした

身につける力を 明確にした指導

学習課題（めあて）の提示
 振り返り／まとめの工夫
問い・発問の工夫など

資質・能力の習得

各学力テストの結果分析
 各教科共通課題の設定・修正
 単元や確認テストの継続

学習規律の徹底

挨拶、返事、聞く姿勢の徹底
 聞き方や話し方の約束
 発表ができる雰囲気づくり

家庭学習の定着

学習部（専門部）との連携
 家庭学習点検表の活用（定期テスト
 期間など）
アウトメディア・ウィークの実施、
 （二者・三者面談での活用）

【共通課題】与えられた情報から要点をとらえ、判断したことについて、根拠を明確にしながらかみ取り、書く・まとめる・表現する力の授業実践とその育成に取り組む。（読解力育成プランを参考に）

教科	共通課題に対する各教科の具体的な取組
国語	・立場を明確にして、質問や意見を述べる。 ・複数の情報を関連付けて自分の考えを具体的に書いたり発言したりする。 ・根拠が適切であるか判断するために、交流の中で比較や検討を行う。
社会	・単元内容によって「主体的・対話的な深い学び」の場の設定をする。（大単元1つ以上、授業内容に組み込む）（地理…中国・四国における過疎の現状や対策 公民…経済の価格の設定のちがいの説明など） ・問いの工夫（単元を貫く問いの設定、単元ごとの問い）（例：奈良、平安時代の文化の違いとは？）
数学	・主に文字式や図形分野において、説明（証明）や表現する場を設定し、そのために必要な基礎の学力向上に向けての確認テストを全学年で同時期に実施する。
理科	・分野別の観察や実験及び事例に対して、意図的に表現・思考力を育む問いかけを設定し、考え・表現する場を設ける。「必要に応じて、個別指導や班活動を実施」
音楽	・鑑賞の活動で、曲の良さや美しさについて、曲想と音楽の構造との関わりなどを根拠として挙げながら、自分の言葉で説明して、班などで共有化をする。
美術	・木工作品、篆刻印の鑑賞において、「感じたこと・工夫した点」を発表し、意見の共有化を行う。
保体	・学習カードを用いて、自己やチームの技能の現状を理解し、それに技術の完成に近づけるための手立てを当てはめて練習ができるようにする。（評価カードへの記入、振り返り、自己反省） ・グループで協力しながら、段階的練習方法や技のポイントを見出し、練習やゲームを構成させる。
技術	・基礎的な技能を身につけるためのきめ細やかな指導に心がける。 ・班活動における教え合い学習を取り入れ、「知る学習」から「気づく学習」を重視して学習を深めさせる。
家庭	・自分が考えた献立、裁縫作品などについて、留意点や工夫した点についてまとめ、発表し合う。他生徒の製作した作品において、工夫している点を文章でまとめ、発表し合う。全体でも紹介する。
英語	・単語の小テストを実施し着実に語彙の習得を行う。英語らしい音声を意識した音読指導を行い、自然な英語を聞き取る力につなげ例文を参考に、自己表現をすることを通して、正しく書く力を身につけさせる